

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 83.8%

ねらい：漢字の正しい読みができるかを問う。

分析と対策：漢字を覚えるときには、音読みと訓読み、その送りがなを正しく覚えましょう。また、その漢字を使った熟語も覚えましょう。

2 漢字の書きとり 41.3%

ねらい：漢字の正しい書きができるかを問う。

分析と対策：とめやはねなども正しく覚えましょう。「悪」や「級」のように細かい部分をまちがえやすい漢字は、画数や筆順を確かめながら覚えましょう。

3 送りがな 76.3%

ねらい：漢字の送りがなについての理解を問う。

分析と対策：送りがなのきまりとして、言葉の一部が変わるものは、ふつう変わる部分から送るのが原則です（例帰る）。そのほかにいくつかルールがあるので覚えておくとよいでしょう。

①「しい」で終わる形容詞は、「し」から送る。②「か・やか・らか」で終わる形容動詞は「か・やか・らか」から送る。

③ほかの読み方と区別するために一つよけいに送る。送りがなは、漢字を覚えるときに合わせて覚えるよう心がけましょう。

4 こそあどことば 93.8%

ねらい：こそあどことばを正しく理解し、使い分けられるかを問う。

分析と対策：こそあどことばは、話し手や聞き手からの距離によって、また、場所を指す場合、ものを指す場合、人を指す場合、様子を表す場合によって、

使い分けをする必要があります。こそあどことばにどのような種類があるかを覚え、使い分けましょう。

5 主語とじゅつ語 79.4%

ねらい：文の中の「主語」や「述語」についての知識を問う。

分析と対策：文には、「何が—どうする」「何が—どんなだ」「何が—なんだ」の型があります。まずはその文の述語を探すことで主語も見つけやすくなります。

6 詩と解説文の読みとり 30.0%

ねらい：詩の世界を感じながら、えがかれている内容を理解しているかを問う。

分析と対策：解説文も活用して、内容をとらえましょう。この詩では「ボク」と「カ」の世界についてえがかれています。「ボク」と「カ」がそれぞれの世界のスケールの中でくらしているということを読みとりましょう。

7 物語の読みとり 43.9%

ねらい：場面を想像し、登場人物の心情を読みとれるかを問う。

分析と対策：家にやってきた「あのイヌ」をめぐる登場人物の心情を読みとることが中心になります。一つひとつの行動や会話文に注目して人物の心情の変化を読みとりましょう。(1)はお母さんの考えを読みとる問題です。(2)(6)は二郎の様子から心情を読みとる問題です。(3)は一雄の考えを読みとる問題です。また、(4)(5)(7)は本文中の内容を読みとる問題です。本文全体を選択肢の内容や設問文と照らし合わせながら、正確な読みとりを心がけましょう。

全体の平均点は55.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。